

三枝照夫（さえぐさ・てるお）先生

株式会社フリーダム 代表取締役

立命館大学客員教授



- 1951 年 4 月 神奈川県横浜市生まれ
- 1975 年 3 月 早稲田大学商学部卒業
- 1975 年 4 月 日本ビクター株式会社入社 後 ビクター音楽産業株式会社出向
(現在は各々、「JVC ケンウッド」「ビクターエンタテインメント」に改称)
- 1999 年 6 月 取締役に就任 第1制作宣伝本部長
- 2002 年 6 月 代表取締役に就任 専務取締役に就任
- 2004 年 1 月 代表取締役専務取締役 兼
JVC エンタテインメント・ネットワークス株式会社CEO(代表取締役)
- 2007 年 6 月 取締役会長就任
- 2008 年 4 月 取締役会長 担当 邦楽制作統括
- 2009 年 1 月 取締役会長 兼
ビクターミュージックパブリッシング株式会社 代表取締役社長
- 2010 年 1 月 アドバイザー(相談役)就任
- 2010 年 7 月 株式会社フリーダム設立 代表取締役就任～現在に至る

(※担当したアーティスト 松本伊代、小泉今日子、荻野目洋子、酒井法子、SMAP、Kiroro、19、
広瀬香美、ラブサイケデリコ他、現在は石井聖子)

《講義概要》

開講オリエンテーションは、立命館大学産業社会学部の竹内謙彰副学部長の挨拶から始まった。本講座開講のために寄附を賜った3団体について紹介し、エンタテインメント産業の第一線でご活躍中の素晴らしいゲスト講師のご講義を聴くことのできる貴重な機会であると説明。様々な切り口から現状を把握し、学習を深めてキャリア形成等に役立てて欲しいと受講生を激励した。続いて、本講座のコーディネーターであり株式会社フリーダム代表取締役でもある立命館大学客員教授の三枝照夫氏が、講座の成り立ちや概要、学習目標についてガイダンスした。2020年の東京オリンピックを見据え、社会資本の充実・技術革新が進む中で、エンタテインメントがどう関わってゆくのかを学ぶ。

前期（4月～7月）は総論を学び、後期（10月～1月）では各エンタテインメント文化についてより具体的な内容を学ぶ内容となる。

その後、前期授業の講義テーマや豪華な講師陣、講義内容について紹介するとともに、学習のポイントを伝え、エンタテインメント業界の総論として、業界の大まかな仕組みをとらえ、かつエンタテインメント業界に興味を持って受講するよう、学生を促した。

プロフェッショナルとしての視点は勿論のこと、一般の視聴者・市民としての視点を併せ持ちながらエンタテインメントを組み立ててゆく、各講師陣の視点・考え方を学び、エンタテインメント業界の未来を見通す力を付けてゆくことが目標である。

また、本学准教授の栗谷佳司先生より三枝照夫氏のご紹介があり、今までのご経歴とともに長年レコード会社でご活躍された経験から、「失敗することがあっても、自分を信じてチャレンジしてゆく」姿勢を大事にすることを説かれた。

